

古代史講演会と夕食会

七夕伝説

アマテラス VS スサノヲの誓約

講師

万葉記紀研究家

福永 晋三

ガイドナビゲーター

鉄鋼彫刻アーティスト

母里 聖徳

2025年8月29日(金)

受付 13時30分 講演開始 14時～16時

夕食会 17時～18時30分

19時～20時「天の真名井」見学会※各自車移動

参加費 3,500円

会場 カホアルペ 福岡県嘉麻市馬見587 TEL 0948-57-3511

主催 カホアルペ 後援 嘉麻市

共催 嘉麻市観光まちづくり協会・徳積財団・神功皇后紀を読む会・スリーピーカフェnico

紀元前14年、アマテラスことニギハヤヒ命が、宮若市笠置山に降臨した。

アマテラスは古遠賀湾を渡り、香春町のスサノヲを攻め滅ぼそうと企てた。

だが、スサノヲの軍も強く、すぐには攻略できず、講和条約を結ぶことになった。

両者の中間点、遠賀湾の中洲にある「天の真名井」が講和の地に選ばれた。

そこは豊国の中心地でもあり、豊国の始原の女神=天御中主神（瀬織津姫）の治めた地であった。

地軸が現在のように傾く前の北極星は織女星（ベガ）だった。

天上の天の川に織女星が輝き、地上の天の川（遠賀湾）沿岸は高天原の瀬織津姫（織姫）の系譜につながるスサノヲが治めていた。

福永説の
七夕伝説

講和条約の締結は1年に1回、七夕の日、ベガが中天にある時に行われたようである。

それが古事記に書かれた「誓約（うけい）」の正体と思われる。

数年間、講和が続いたが、ついに軍事力の均衡が崩れ、アマテラスは地上の天の川を渡りスサノヲを破った。

スサノヲは天の岩屋戸（田川市夏吉）で処刑され一族は、現在の出雲の地に流された。アマテラスはスサノヲから天叢雲剣（後の草薙剣）を奪い王位に即き倭奴国（いぬこく）を建てた。

誓約（うけい）と七夕伝説の関係を解明し、天の真名井が今も嘉麻の地に在ることを証明したい。

お申し込み・お問い合わせ

kn カホアルペ

〒820-0321 福岡県嘉麻市馬見587

TEL **0948-57-3511**